

学校部活動&新たな地域クラブ活動

みなさんは、中学校の部活動の現状をご存じですか？昔は、やりたい部活動があったり、当たり前のように大会や試合に出られたりしたかもしれません。

しかし、現在、深刻な少子化に伴う**生徒数・部活動の減少**などにより、学校部活動をこれまでと同様の体制で運営することが難しくなっており、一部の学校部活動は存続が厳しい状況にあります。

これらの課題に対応するため、国は「**学校部活動及び新たな地域クラブ活動**」の方針を示し、全国市区町村に対し、段階的に新たな地域クラブ活動を導入するよう呼びかけています。これを踏まえ、伊奈町立の3中学校（伊奈・小針・南）でも同様に取組を進めていきます。

では、実際にどのような課題が中学校の部活動の現場に発生しているのか、どのような対応の動きがあるのかを見ていきましょう。

「新たな地域クラブ活動」とは…？

学校と地域とが連携・協働し、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる場として、学校外の地域の人を中心となっていく新たな形の地域クラブ活動です。



現在の部活動、どのような課題があるの？

生徒数・部活動の減少

具体的には…

- 部員数が足りず、大会・試合に出られない
- やりたい部活動が学校にない

生徒のニーズの多様化

具体的には…

- 専門的な指導を受けたい
- いろいろなスポーツや文化・芸術系の活動してみたい

Point !

町立3中学校（伊奈・小針・南）の生徒数の合計で考えてみると、5年後（現小学校4年生が中学校3年生になるとき）には、現在よりも**約250人減少**する見込みです。このままだと、多人数の団体部活動で**部員数が不足**してしまいます。



これらの課題に対応するのが、**新たな地域クラブ活動**です！

実は 県内自治体でも新たな地域クラブ活動を導入している自治体があります！

2ページに挙げた課題に対応するため、実際に新たな地域クラブ活動を取り入れた県内自治体の事例を見てみましょう。この表からは、学校主体という枠にとらわれず、**地域主体で多世代・多種目の活動**を行っていることがわかります。



○令和4年度白岡市・戸田市・上尾市のモデル事業の状況（伊奈町生涯学習課調べ）

	白岡市（4校：篠津・菁莪・南・白岡中学校）	戸田市（新曽中学校）	上尾市（原市中学校）
種 目	① 2校5種目9部活動：卓球、ソフトテニス、ソフトボール、陸上、バスケットボール ② 市内合同部活動：剣道、ダンス、吹奏楽（パートレッスン）、プログラミング	1校2種目：陸上、剣道	1校1種目：バレーボール
形 態	指導者派遣	指導者派遣	指導者派遣
実施主体	民間事業者（委託）	民間事業者（委託）	民間事業者（委託）
指導者確保	市・民間事業者それぞれの人材バンク	民間事業者人材バンク	埼玉上尾メディックス指導者
施設・設備	各学校の施設および市の施設	新曽中学校施設	原市中学校施設
会 費	市負担およびクラウドファンディング	委託先が負担	保護者負担あり（全9回で1人あたり1,000円）
保 険	スポーツ安全保険（含文化部活動）	委託先の提携会社保険	スポーツ安全保険
兼職・兼業	無	無（当初数回の顧問参加有）	無（数回の顧問参加有）

新たな地域クラブ活動は、生徒や教員にとって多くのメリットがあります。一方で、導入には新たな課題も発生します。

新たな地域クラブ活動のメリット

- 生徒が専門的な指導を受けることができます。
- 生徒が取り組みたい種目の活動ができます。
- 教員の異動などの影響を受けないで、継続的な指導を受けることができます。
- 指導者である教員の負担が減り、授業の準備などの業務に専念できます。

新たな地域クラブ活動の課題

- 指導者の確保
 - ➔ 人口の少ない自治体などでは、適切な指導者の成り手が不足することがあります。
- 経済的負担
 - ➔ 地域団体に移行されると、自治体や保護者が活動費用を負担しなければならないことがあります。
- 活動場所が遠くなる
 - ➔ 学区外での活動の場合、活動場所が遠くなり、生徒や保護者にとって負担となる場合があります。

課題はありますが、生徒たちの成長の可能性を広げるうえで、メリットはとて大きなものとなります。

次のページでは、新たな地域クラブ活動を導入したら、どのように現状が変わるのかを見ていきましょう。

